

いちばん大事なのは TSH です。ただし数値の向きが直感と反対なので、そこだけ覚えてください。

Q なぜ TSH をいちばん見るのですか

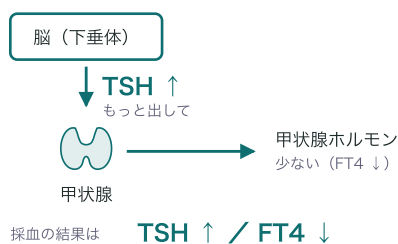
甲状腺ホルモン(FT4・FT3)の量は、脳の下垂体^{かすいたい}が見張って調節しています。

足りなければ「もっと出して」と TSH を増やし、多すぎれば TSH を減らしてブレーキをかけます。

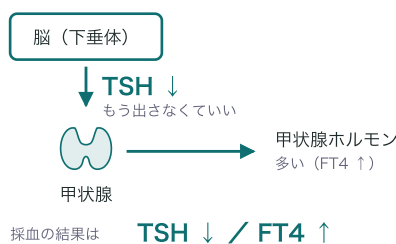
このため TSH はわずかな変化にも先に反応します。甲状腺の状態を映す鏡として、最も鋭い指標です。

Q 数値が反対に動くのはなぜですか

甲状腺ホルモンが足りないとき



甲状腺ホルモンが多すぎるとき



TSH は甲状腺へのアクセルです。働きが弱いほど強く踏み込むので、数値は上がります。

TSH が高い＝甲状腺の働きが弱い。ここが直感と反対なので、よく混乱されるところです。

Q 組み合わせで何がわかりますか

TSH	FT4	考えられる状態
高い	低い	甲状腺の働きが弱い(機能低下症)
高い	正常	潜在性機能低下症 ^{せんざいせい}
低い	高い	甲状腺の働きが強い(中毒症。バセドウ病など)
低い	正常	潜在性機能亢進症

「潜在性」は症状が出る前の段階です。すぐ治療とは限らず、経過をみることもあります。

Q 抗体の検査は何を見ていますか

ホルモンの量ではなく、原因を調べる検査です。一度調べれば毎回は測りません。

- TRAb — バセドウ病の原因になる抗体
- TPOAb・TgAb — 慢性甲状腺炎でよく陽性になる抗体

Q どのくらいの間隔で測りますか

薬を始めた直後や量を変えたときは 1～2 か月ごと。値が落ち着いてからも、2 か月おきくらいに測ることが多いです。長く安定している方では、もう少しあけることもあります。

TSH は変化が数値に表れるまで 1～2 か月かかります。薬を変えてすぐ測っても判断できないため、この間隔にしています。